

農政連八代総支部活動報告

「掘るのが楽しい」きたしんち愛ポテト収穫祭

八代市鏡町の北新地地区で、きたしんち愛ポテト「ばれいしょ収穫祭」が、5月25日に行われ、参加した家族連れが、イモ掘りなどを楽しみました。

これは、JAやつしろ北新地馬鈴薯部会が、県内屈指の作付面積を誇る馬鈴薯（品種メークイン）のPRを目的に開いてます。2回目の今年はイモ掘りと合わせてカレーライスと、フライドポテトが無料で振る舞われました。

イモ掘り体験は、畑に入った子供達が「大きいのがいっぱい」「掘るのが楽しい」と喜んでいました。

また、今年初めて参加した家族連れも「楽しかったので来年も参加します」と話しました。



▲大勢の家族連れが、収穫祭を楽しみました



▲くまモンと一緒にイモ掘り！

収穫が楽しみ 青壮年部食育

JAやつしろ青壮年部は「食と農業の大切さを知ってもらおう事で、健やかに育て欲しい」と、児童らを対象に食育活動を行っています。

6月13日に、同JA松高総支部は、八代市立松高小学校5年生に、甘藷の植え付けを、6月24日には、同JA八千把総支部が、八代市立八千把小学校5年生に田植えの指導しました。

児童達は、初めて体験する作業に目を輝かせ、楽しそうに植え付けを行いました。児童たちは、泥だらけになりながらも「農家の大変さが判った」「楽しかった」「もっと植えたかった」などと話し、収穫を楽しみにしています。

同様の活動は、同JA青壮年部の他の総支部でも行なっています。



▲八千把小 田植え



▲松高小 甘藷の定植

夏の装い、涼しげに！

女性大学「浴衣着付け教室」

7月18日、JAシンフォニー女性大学は第10回講座の「浴衣着付け教室」を八代市鏡町の農事研修センターで開き、学生9人が参加しました。

JA熊本中央会・連合会営農生活センター東山千鶴・平山恵美子両職員とJAの生活指導員3人が講師を務め、綺麗で型崩れしない浴衣の着付けや、色々な帯の締め方など、すっきりとした立ち姿に見えるよう、実践を交えながら指導しました。

参加した学生たちは「初めてでしたが楽しく、着物にも興味がわきました」「自分で着た時よりも苦しくなく、見た感じも違います。機会ある毎に着たいですね」と笑顔で話しました。

11回講座は「ピラティス教室」を8月19日に開きました。



◀講師の指導を受けて、綺麗に見える浴衣の着付け